

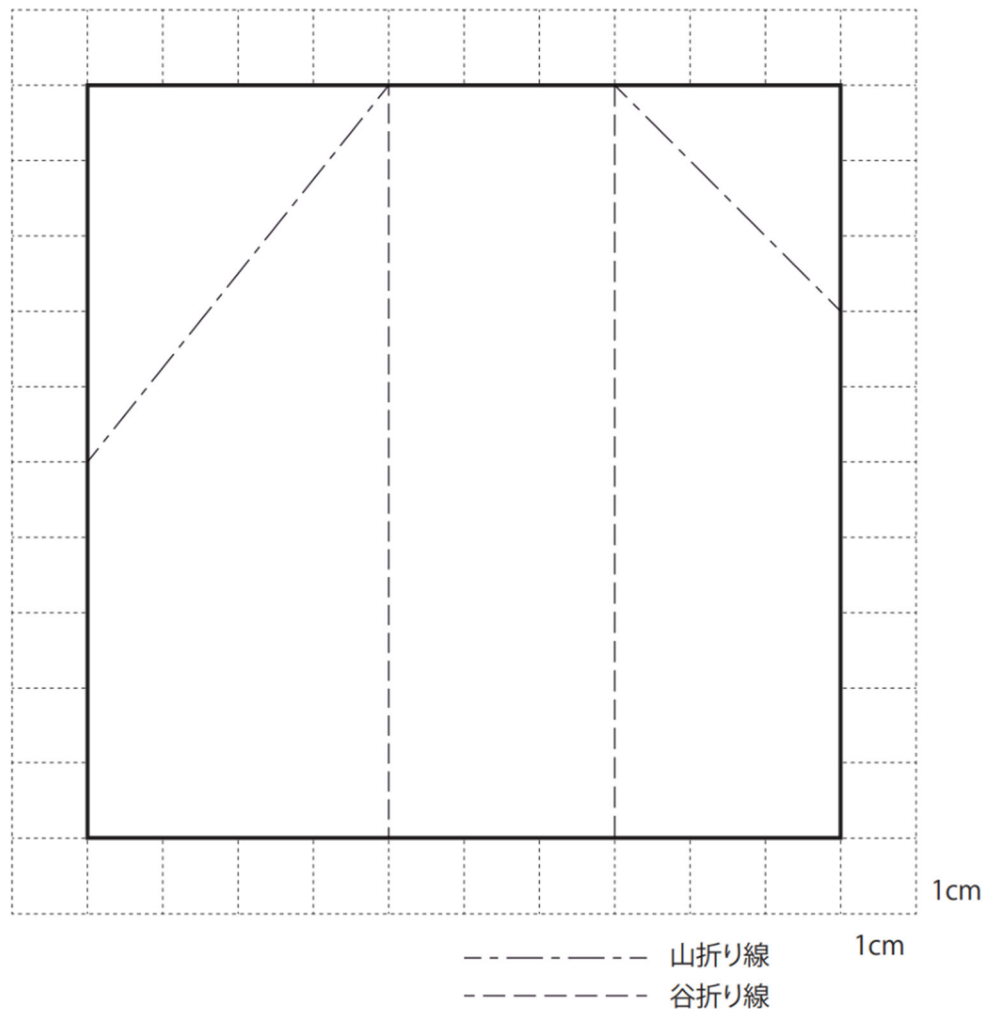
〈3 月選抜〉

問題 A（見て描く）、問題 B（想像して描く）のいずれか一つを選び、その解答を鉛筆と色鉛筆を用いて画用紙にフリーハンドで描きなさい（画用紙の裏面に必要事項を記すこと）。なお、選んだ問題（「A」または「B」）を画用紙の右下に明記すること。

【問題 A（見て描く）】

配付された一辺 10cm の正方形の紙一枚の裏に、色鉛筆で水玉模様を描きなさい。この紙を図のように折り、軽く広げて机の上に置き、その手前に、あなたが持参した机の上にある筆記用具 2 つを置いて、紙の裏側が一部見える角度で描写しなさい。

なお、水玉模様の大きさや色、紙の置き方、筆記用具の種類、配置など与えられた条件以外は自由に設定してよいものとする。

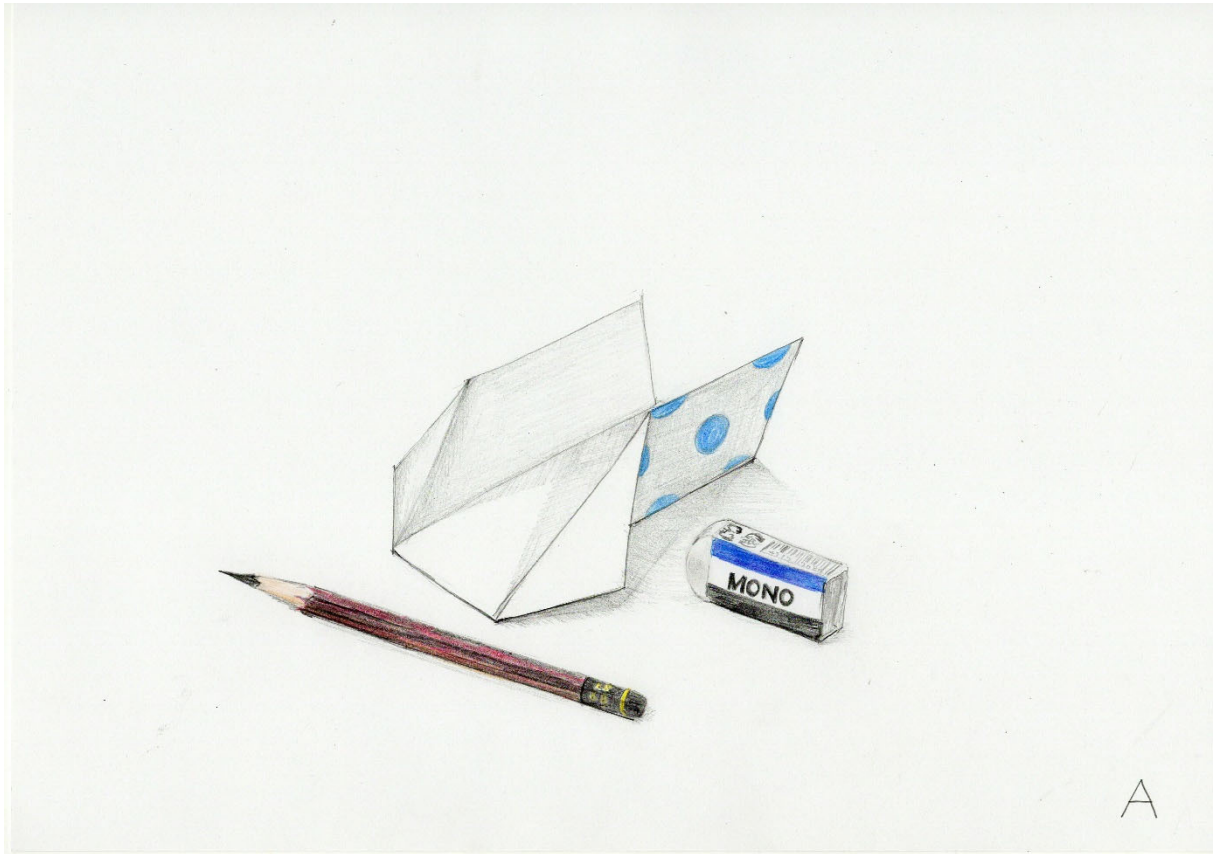


図(表面)

【問題 A の解説】

まず、問題文全体を読み、描画する要素を把握します。配布された正方形の紙の裏面に水玉模様を描き、図に合わせて折り、「紙の裏側が一部見える」ように、折る角度や置く位置を調整します。また、机上有る2つの筆記用具を加工した紙の手前に、どのように置くと安定して美しい構図になるのかを検討することも大切です。

実際に指示された状態を作った後、それぞれの材質感が伝わるように描き、陰影もしっかり見て描き込みます。



【問題 B（想像して描く）】

コーヒーカップが、カップの受け皿と共に机の上に置いてある。
コーヒーカップの上側 2/3 は、直径が同じ円筒型であるが、その
下側は、徐々に細くなっている。

取っ手部分は、直線と曲線で複雑に構成されたデザインになって
いる。

本体部分は 1 色で、取っ手部分は別の 3 色で構成されている。

この状態を想像して描きなさい。

なお、カップの受け皿の色や柄は自由に設定してよいものとする。

【問題 B の解説】

まず、問題文の条件を確認しながら下描き用紙にラフに描いてみ
ます。比率や構成の条件に合致するように調整しながら、自由に設

定して良いものを確認して、効果的に見えるように構成を決めます。
色数と色の組み合わせを検討するために、軽く色を付けて見ることも大切です。

次は、画用紙に対して、どの程度の大きさに描けば、そのものが
実際にある様に感じるかを考えながら描き始めます。

陰影は、基本的には光が左前から入って来ているように設定して描
きますが、しっかりと方向を決めてから描くことが大切です。

